

医療安全と災害看護 1単位（15時間）

- 科目目標：1. 医療安全の基礎的知識を理解する。
 2. 災害看護の概要を理解し、災害直後から支援できる看護の基礎的知識を理解する。

講師：①渡邊 美紀江 ②野原久美（教員）

評価方法：レポート・筆記試験・授業態度等により評価する

テキスト：①医療安全，南江堂

②系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践3，災害看護学・国際看護学，医学書院

単 元	教 育 内 容	時間	授 業 形 態	備 考
医療安全と看護管理	<p>1. インシデント・医療事故の概念</p> <p>1) インシデント報告の意義・活用方法</p> <p>2) ヒューマンエラーと医療事故</p> <p>3) 医療事故の種類</p> <p>4) 看護業務と医療事故の現状（医療紛争事例など）</p> <p>2. 事故・インシデント分析の実際</p> <p>事例の検討を行いながら、リスクをアセスメントする知識を学ぶ。</p> <p>例：多重業務の中での事故発生分析 医療機器の管理に関する事故発生分析 （人工呼吸器、自動輸液・注入ポンプ）</p> <p>3. 施設として取り組むリスクマネジメント</p> <p>リスクに関する検討会・各職種間での情報交換や課題解決の実際例など</p>	8	講義	<p>講師① 配点50% テキスト①</p> <p style="text-align: right;">事故発生の分析</p>
災害看護の理解	<p>1. 災害看護の歴史的展望</p> <p>2. 災害看護の定義と概要</p> <p>3. 災害サイクル・災害種類別・対象別による被害の特徴</p> <p>1) 災害サイクルにあわせた災害医療</p> <p>2) 災害の種類（自然災害・人為災害・特殊災害）</p> <p>3) 対象別による被害の特徴 （小児期・成人期・老年期・身体障害者・妊産褥婦・外国人）</p>	7	講義	<p>講師② 配点50% テキスト②</p>

単 元	教 育 内 容	時 間	授 業 形 態	備 考
	<p>4. 災害と情報</p> <p>1) 看護者としての情報収集の方法</p> <p>5. 災害に関する法律</p> <p>1) 災害対策基本法</p> <p>2) 災害救助法</p> <p>救助の種類と実施機関・適用基準</p> <p>1. 災害時に必要な技術</p> <p>1) トリアージ・搬送</p> <p>2) 心肺蘇生法</p> <p>1. 災害による心的外傷とストレス反応</p> <p>2. 災害による喪失体験と悲嘆反応</p> <p>3. 被災者のこころのケアへのニーズと看護職の役割</p>			